

2007年10月10日

10月10日の“目の愛護デー”によせて

スタンダードチャータード銀行、

視覚障害についての理解向上を目指し、新宿区立四谷小学校訪問&イベント開催

このたび、スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン、東京支店:東京都千代田区、CEO:マーク・デヴァダソン)は、“目の愛護デー”そして“ワールドサイトデー”に際し、CEO、当行スタッフ、そしてアキレストラッククラブの視覚障害者ランナーとともに、日本や世界における視覚障害についての理解を高めるために、10月10日(水)新宿区立四谷小学校(校長:和田信行)の体育館にて児童80名の参加のもと、イベントを行いました。

当行CEO マーク・デヴァダソンのあいさつの後、アキレストラッククラブ代表 高澤節子さんによる「視覚障害者であること」についての説明、そしてクラブメンバーによる視覚障害者がガイドランナーとどのように一緒に走るのかを紹介しました。続いてふたつのチームに分かれ、盲導犬とのふれあいや、視覚障害者のガイドとして一緒に歩いてみるなどの経験をしてもらいました。これは、参加した児童たちに、実際の経験を通して、視覚障害についての理解を深め、意識を高めてもらうことを主眼としたものです。

当行CEOであるマーク・デヴァダソンは、次のように語っています。

「四谷小学校の生徒のみなさんと、わたしたちの友人であるアキレストラッククラブのメンバーなど、コミュニティのみなさんの間の対話や交流の手助けができ、うれしく思います。わたしたちは、より多くの人々が日本における視覚障害者の問題について関心を持ち、そして彼らに手を差し伸べ、援助活動にかかわっていくことを心から願っています」

当行は、回復可能な視覚障害支援プロジェクト“Seeing is Believing”* プログラムをグローバルに展開しています。そして、日本における“Seeing is Believing”活動の一環として、視覚障害者やその他の障害者、そして一般市民のランニンググループであるアキレストラッククラブをサポートしています。当行とアキレストラッククラブは、募金、ランニングイベント、学校訪問など幅広い活動を、パートナーとして協力して行っています。

四谷小学校(今年3月に四谷第三小学校と四谷第四小学校が統合し開校)へは、昨年ワールドサイトデーに、当行スタッフとアキレストラッククラブのメンバーで、そして今年3月にはパラリンピックの金メダリストであるケニアの盲目マラソンランナー、ヘンリー・ワンヨイケとその伴走者であるジョセフ・キブンジャとともに四谷第三小学校へ訪問したことをあわせ、今回が3回目の訪問となります。

アキレストラッククラブについて

アキレストラッククラブは、視覚障害者を含めた身体と心に障害をもつランナーと一般市民が共にランニングを楽しむためのランニンググループです。スタンダードチャータード銀行は、2004年10月に視覚障害者のグループをサポートすること、視覚障害についての意識を高めることを目的に、スポンサーシップ契約を結びました。以来、当行主催 Greatest Race on Earth (GROE)のひとつ、香港で行われるマラソン大会に、毎年アキレストラッククラブの視覚障害者ランナーと伴走ランナー10名程度が参加、当行スタッフがボランティアとして同行、サポートしています。アキレストラッククラブは、わたしたちのパートナーとして、地域への貢献活動や、Seeing is Believing の募金活動に協力しています。

Seeing is Believing について

Seeing is Believing は 2003 年にスタンダードチャータード銀行行員が中心となって回復可能な視覚障害の問題の意識を高め、募金を集めることを目的にグローバルな取り組みとしてスタートしました。すでに開発途上国の 100 万人の視覚回復に必要な募金を集め、視覚障害の問題に取り組んでいる NGO をサポートしてまいりました。現在 2010 年までに 1000 万 USドルの募金を集め、20 カ国において、世界における回復可能な視覚障害の 1/4 以上にあたる 1000 万人の生活をよりよいものにするを目指しています。わたしたちは Vision2020 のような先駆的なアイデア団体と協働し、人々の生活に直接インパクトを与え、将来に向けて、持続可能なヘルスケアを確立するためのプロジェクトをサポートします。

スタンダードチャータード銀行- アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社であるスタンダードチャータード・ピーエルシーは、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースでFTSE100 構成銘柄の上位25 社にランキングされています。

スタンダードチャータード銀行は、創立以来150 年以上の歴史を誇り、アジア太平洋地域・アフリカ・南アジア・中近東・欧州・英国・米州の世界57 カ国で、店舗数1,400 強(当行子会社・提携会社・ジョイントベンチャーを含む)の広範な地域拠点を網羅するグローバル・ネットワークを駆使し、世界で急成長を遂げる数多くの新興成長市場において、事業展開を行っています。

世界有数の国際的銀行として、全世界で100 以上の国籍のよって構成される60,000 人余名の行員を擁しています。この多様性は、私どもが持つ企業価値の真髄をなすものであり、また、世界がひとつの市場として統合されつつある現在、当行の企業成長を支えています。

スタンダードチャータード銀行は、その戦略的買収・提携、安定した財政基盤、多岐多様にわたる事業分野・金融商品・地域性、そして当行行員に支えられた堅調なオーガニック成長(買収等を含まない事業自体からの収益成長)により、アジア・アフリカ・中近東地域の急成長を続ける新興市場において、当行の優位性を確保しております。また、その総収益9 割強がアジア・アフリカ・中近東地域から計上されています。

スタンダードチャータード銀行は、世界各国で、個人および法人向けサービスに特化したコンシューマー・バンキング部門・ホールセール・バンキング部門による両面での業務展開を行っていることから、顧客の皆様には、グローバルな視点に立ち、かつ各地域で培った高い知識・ノウハウを駆使して、広範で革新的な金融商品・サービス、また、数々の賞に輝く、実力に裏づけされたファイナンシャル・ソリューションを提供しております。

また、当行グループで一律に適用される企業統治(コーポレートガバナンス)および企業責任(コーポレイトリスポンシビリティ)に基づき、地域社会との一体性・環境保護・望ましいコーポレートガバナンスを図り、長期的なスタンスに立ち、確実に、サステナビリティ(持続的成長)のある事業構築を行っております。

2006 年The Banker(ザ・バンカー)賞において、スタンダードチャータード銀行は「最優秀世界銀行賞(グローバル・バンク・オブ・ザ・イヤー)」をはじめ、アジア太平洋とアフリカの主要2 地域において「地域最優秀銀行賞」、6 カ国での「最優秀銀行賞」、および「最優秀CSR(企業の社会的責任)賞」を受賞しております。

日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880 年にさかのぼり、今年で127 年目を迎えました。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店において、約250名の従業員を擁しています。スタンダードチャータード銀行は、アジア、アフリカ、中近東の各地域に投資する日本企業および銀行に対して、ホールセール(大口金融)、カスタディ、トレジャリーおよび貿易取引の各業務分野におけるサービスを提供、そして個人のお客様にはプライオリティバンキングサービスを提供しながら、さらなる成長を続けています。

世界におけるスタンダードチャータードのウェブサイト(英語): www.standardchartered.com

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(英語): www.standardchartered.com/jp/index.html

日本におけるスタンダードチャータード銀行プライオリティバンキングのウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp/cb/pb/

スタンダードチャータード銀行 東京支店 コーポレート・アフェアーズ部

・森田 早智

Tel: 03-5511-1245

Sachi.Morita@jp.standardchartered.com

・部長 クリストファー・ドミター

Tel: 03-5511-1361

Christopher.Domitter@jp.standardchartered.com